

■ 80代・男性

R4から ●●さんのお世話になっていますが 先生始めスタッフの方も大変親切で ●●さんに通院出来 本当に心から感謝しています。●●さんにお世話になって良かったです。ありがとうございます。

■ 80代・男性

●●病院の外科の若い先生の対応が悪い。本人に対して「がんですわ」と、個室に来て本人へ言われた。今どき、そんな対応をしている病院はないと思う。

■ 80代・男性

ガンと同時期ぐらいにセキツイセキズイ両ケンマク症にかかりました。両手両足のしびれがあります。手術は●●で受けました。

■ 80代・男性

放射線治療等機械の充実

■ 80代・男性

誰もが安心して治療ができるよう望むだけです。経済的な理由だけで、治療の有無や適切な治療や投薬がなされないという現実を何とかして欲しいですね。私の場合は、未だ治療費が少額だったから良いですが、それでも、ガン再発防止の為に5年後は、検査 e t cを受けないと…となると高令の私なんかは、再発より寿命の方が先にくるという思いです。私の場合は高令だから「高令者の医療費は無料を」と。税金は本当に必要な施策に。人を殺し合うことには使わないで。平和より尊いものはないです。

■ 80代・女性

ある程度の治療が終了すると自分の住んでいる町の医院へ行く様に言われるのはそれぞれ、じょうが有り、高台に住み、通医にこまる事もある。タクシーで行くには近すぎて、タクシーも利用するにと言う事が有る。手術してもらった病院へ通えるの一番と思います。皆様の御苦勞はわかりますが患者の方に色々あります。移医を言わたら病院行のやめようと思います。自分の身体は、自分でとの思いが有ります。

■ 80代・男性

とくになし1点だけ●●病院の様な最新の放射線治療施設が●●(病院名)にも欲しい

■ 80代・男性

公共交通機関を利用しているが、便数が少く無駄な時間が多く、この点では対処にこまっている。免許証返納したため、上記の点で問題があります。特典も年金生活者にとっては大変です。せめて、30分1本、できれば20分に1本の体制をとっていただきたい。

■ 80代・男性

医療関係者のみなさん、そして、回りの人、家族に支えられ、平時と変わらぬ生活をさせてもらった。現在も2ヶ月に1回●●(病院名) (手術して退院後より、●●(病院名)に移転しています)で検査を受けており、約10年になりますが再発していません。先生やスタッフの皆さん、回りの方々、家族に感謝しています。令和8年は88才米寿です。お蔭様で元気です。ありがたいと感謝しています。ありがとうございました。

■ 80代・男性

現在に至るまで実に沢山の“検査”を受けてその都度医師の判断を受けて来ましたが①それぞれの検査結果の説明と②それに対する医師の判断と対処方法について及び診断結果の説明については文書にて患者に出す必要があると思います。今迄何一つ受け取っておりませんが、それぞれに大きな費用と手間が、かかっているはずで、何とかしてそのような方法が出来る様に御検討いただきたいと思います。御検討下さい。世の中の“仕事”はそのようなものであり、絶対に必要です。

■ 80代・女性

市の検サでみつかったたすかった。

■ 80代・男性

現在治療中で、今のところ順調な経過で数値が下がっていますが、これもいつまで続くかわかりません。私の年令も82.7才で滋賀県の男子の平均になりました。日々感謝し残りの人生を楽しみたいと思います。

■ 80代・男性

テレビのコマーシャルで“ガンと診断されたら即100万円を支払う”非常識な保険会社があります。この様なコマーシャルは、やめさせて下さい！！

■ 80代・男性

がんはある意味ではありがたい病気。「終括」をする時間を与えてくれる。日々の、今までの「生き様」により「受けとめ方」が変わる。悔いのない日々を過ごせる様に努め、その結果ががんになった時にあらわれる。仏心?!になれる様に残りの日々過ごしたい。

■ 80代・男性

自分自身ががんと診断されて驚きと共にショックを受けたことは事実です。まさか自分が日頃より健康に留意していたにもかかわらず、診断を受けたときは感涙してしまいました。しかし仕方ありません 療養、治療に専念することを自分自身に言い聞かせるとともに家族に治療に専念することの支援を依頼すると共に協力を求めました。病に罹患することは致し方ないことです。でも治療に専念することと医学の力を享受出来ることはこの上ない幸せなことです。現代の医学の技術と施術に感謝しつつ自分の体力と気力を持って治療に専念し回復したいと思います。多くの同じ患者さんにエールを届けて下さることを願っています。

■ 80代・男性

●才のこれまで胆のうがん、肺がん、そしてこれからぼうこうがんの手術を予定しています。これまでは全く早期発見のため、元気に過しています。ぼうこうがんも早期のため、あまり心配はしていません。これまでを振り返り、やはり早期発見、治療が大切だと思います。私の場合、かかりつけ医があり、早期発見につながったものと思います。高度な医療はもちろん必要ですが、かかりつけ医の資質により大きくその後が変わると思います。かかりつけ医もピンからキリまでありますので、運も影響しそうです。よく調べてかかりつけ医を決める必要もあると思います。

■ 80代・女性

80才前でのがんだったので、またただただ自分の体、気持ちだけを考えられる境遇だった為、その他の年代の方とは少し違ったかと思います。周りからみて、ただただ ふさいでいたように思います。

■ 80代・女性

早期発見が大事だと思うので定期検診を無料でうけれるなどみんなが受けれるように滋賀県で動いてほしい。

■ 80代・男性

肺ガンの手術を受け、深呼吸が出来なく慣れる迄心配だった。

■ 80代・男性

国立がんセンター（東京）の資料を見ると、一定の場所に出来るがんは切除しないと完治望めないで私達は（医師）は切除をあきらめないと書かれている。こういった情報はずい分後程わかった。こういう事が事実なら、もっと患者に全体にわかるようにして欲しい。現代では、医療機関に情報がとどまっている気がしてならない。がんになってから血圧だけでなく、自分に起るあらゆる症状ががんと関係するものなのかもものすごく疑う様になり精神的不安定な日常生活になってしまった。

■ 80代・男性

一人暮らしの方が増々多くなってくると思いますが、近頃のメディアや行政のデジタル一辺倒の傾向は本当に不満で不安です。アナログ人間がまたまだたくさん生きている現在、メディアも行政も多くの人々を取り残したままなのが本当に心配です。これが医療機関の整備や支援体制の充実という点でも心配される点です。

■ 80代・男性

元気で、お酒が大好きだった父ですが、病院に行く事が苦手な定期検診等を受けていませんでした。黄疸に気付いた時には、胆管がんがかなり進行し転移もしていました。もっと、身近に、気軽に受診出来ていれば早期発見出来たと思う。

■ 80代・女性

治療については●●病院は〇〇院長先生が赴任されて以来、素晴らしい配慮ある体制が充実してきました。手術後の放射線治療についても他府の治療を受けられ感謝しています。深謝申し上げます。県で送迎などアクセス面で患者ファーストの対応可能な機関ができるとありがたいです。待ち時間の長さも患者にとっては負荷がかかり疲れが生じます。全てにおいて、患者の目線での体制があるか第三者コンサルタントなどのアドバイスを得て改革して頂ければありがたいです。医療により税申請などもあります。家屋を売却して障害者用の改装（細かい規制で使い勝手が悪く何度も何時間も足を運びました。）をしても、収益とみなされて多額の課税がなされます。弱者の立場には不利です。おむつなど必需品も●●市では年金生活者には配給されません。他県では年収にかかわらず配給されています。その他記録は市役所にあるのに毎年同じ申請を強いられます。改善を望みます。

■ 80代・男性

これから先の事の方が、まだまだ未知数なので不安はありますが、先生始め、看護師さん、職員さん、皆さんすごく優しく話を聞いて頂けるので、うれしいです。

■ 80代・男性

2024年8月に房室ブロック発生で永久ペースメーカーを植え込み今年6月には心房細動でアブレーション治療を受けた。前立腺ガン手術は4月に受けたので（どちらも同じ病院）診療日が重なることはないが、毎週となることもあり、援血をまとめて出来ないかなといつも思っている。

■ 80代・男性

医師の専門性の向上→（名医） うつ病の専門師の設置

■ 80代・男性

特に薬が高額の為困っている。

■ 80代・女性

血液検査で貧血が見つかったため、大腸癌の発見が早く、しかも即刻手術していただけたことを大変有難く思っています。ステージIIであり、きれいに取れたので、何の心配もなく過ごしています。今後は半年に1回CT検査（血液検査あり）があります。

■ 90代・男性

患者が90才を過ぎてるので、経済的にも、精神的にもあまり負担はなかったです。もっと若い人なら、かなり辛いことがあるのではないかと思います

■ 80代・男性

ガンが進行した場合過度の治療より苦しみや痛みを取りのぞいて心おだやかに終末を迎えたい。年寄りの思いですが若い人の場合は又別ですが。

■ 80代・男性

やはり、治療にかかる金銭面の負担が大きく、私の父のように引退してからの治療のために父母の経済的な不安が大きい。高齢者といって切り捨てにならない行政の支援をしっかりと行ってほしい。必要なところに集めた税金や社会保険料をしっかりと役立てて欲しい。病院がなくならないように行政が病院を支えることも大事。

■ 80代・男性

がんが発覚してからは、十分な医療をしてもらい、今はがんと仲よく付き合っていると思っている。

■ 80代・男性

平成27年1月前立腺ガンが見つかり以降ホルモン注射等剤ガンの薬、放射線照射等の治療を受け、以後定期検診を受けて居る。●●センター泌尿器科、外科の通院検診を続けて居ります。

■ 80代・男性

私は前立腺がんで比較的軽い方で日常生活に影響を受けていない為、自分として不満不平はございません。リンパを通じて骨に転移していると聞き、重い物を持たないとか、家族も気を付け協力してくれているので助かっています。●●センターに入院していますが、病院のイメージは暗いきたないと思っていましたが、当病院に入って、入院病棟（外来も含め）はきれいで風呂、便所も常にきれいにしているし、温かいお茶も提供しているし、スタッフも親切・ていねいで私は満足しています。皆さんもそうだと思う。滋賀県もそういった病院へ補助金を出し、より充実した医療機関にして欲しい。

■ 80代・男性

何故がんになったのでしょうか。何年この先生きられるのか不安である。家族と2人のため残った妻が心配です。

■ 80代・男性

薬の効果？ダウン→新薬へ…高すぎる→本当にガンがなくなるのか？

■ 80代・男性

1. 良かった事。医師と患者の治療についての考えを、話し合っただけのいく治療となった。患者の考え：●才と高令なので、副作用のきつい抗癌剤治療はやめたい。それ迄して、寿命延長を望まない。医師の考え：患者は、平均寿命（81才）を越えているので、残りの人生は、「おまけの人生」と思い、のんびり過ぎて下さい。⇒心身共、気楽になった。当初（オプジーボ+抗癌剤）の治療だったが、副作用が強かったのでオプジーボだけの治療をしている。副作用なく、平穏な日々。2. 医師の説明不足だった事。胃全摘出手術で、完全に癌は除去できたと説明を受けたが、1年後「●●センター」に（何の検査か、わからないまま行った）検査で行くよう進められ、PET-CTでスイ臓近くに小さな癌が見つかる。これについての説明は、お互い黙認して、オプジーボ治療継続。＜現在、3週間毎のオプジーボ投与と、2ヶ月毎のCT検査で、平穏な日々。＞先月の検査では、癌の進行はない。スイ臓の近くで手術は不可。このまま継続。

■ 80代・女性

二度もがんをけいけんし先の乳がんは、24年もたちます。直腸がんは5年がたち、ストーマの取り替えも大分なれて来ました。装具の構入にも補助を頂き、大変助かっています。